

資料4

Creative Action for
New Market,
New Culture,
and Social Innovation.



実践的アプローチによる
リーダー育成の取り組みについて

NPO法人ETIC. (エティック)
Info@etic.or.jp

2007年11月22日

ETIC. (エティック) のご紹介

ETIC. (エティック)について

- 特定非営利活動(NPO)法人 ETIC. (エティック)
: **Entrepreneurial Training for Innovative Communities**
- 次世代を担う若者への機会提供を通して、起業家型リーダーの輩出と、社会にイノベーションを生み出すことを目指すNPO
- 設立：1993年 法人化：2000年3月
- 組織：有給スタッフ25名(専従15名) 年間予算：約2億円
- 活動：年間約300名の若者に対する機会提供(長期実践型インターン/創業支援)
- 実績：長期実践型インターン2000名・650社以上が参画
OBOG起業家150名以上(インターン経験者120名程度)
2006年経済産業大臣賞受賞(起業家育成支援)

Copyright(C) 2007 NPO法人ETIC. All rights reserved

3

ETIC. (エティック)について

1993年の設立以来、若者たちが社会への志を持ち、新たな起業家的アクションを生み出すことを支援するために活動をしてきました。

- 1993年 1. 日本の若者に起業家精神を！
創業経営者による**講演会**などを**年間50回以上**開催
- 1997年 2. 起業家型リーダーとしての経験を積む環境を！
ベンチャー企業・NPO・大手新規事業部での**長期実践型インターンシップ**(2000人・650社/97年～06年が参加)
- 2002年 3. 若者のキャリア意識変化(社会事業への強い関心)
社会的課題に事業で取り組むソーシャルベンチャー・ビジネスプラン・コンペティション「STYLE」開催(**4年間で400通**を超える応募プラン)
事業型NPO立ち上げ・事業化を支援するために、NECと連携し、**NEC社会起業塾**スタート(**5年間で14団体**の立ち上げ支援)
- 2004年 4. 社会起業家の人材が生まれる生態系を日本全国に広げる！
経済産業省と連携し、東京で培ってきたノウハウを活かして、**全国各地に社会起業家が生まれる生態系を広げる「チャレンジ・コミュニティ創成プロジェクト」**を展開(04年～06年で**15団体**をハンズオン支援、予備軍10地域)

Copyright(C) 2007 NPO法人ETIC. All rights reserved

4

ミッション:

自らの行動で、 社会の未来を切り拓いていく、 次世代のリーダーを育成する。

次の社会を創る仲間と出会い、
そしてともに社会の未来を切り拓くために仕事をしていく。
それは創業以来変わらない精神。

これまでの11年間で、1800名の若者たちの成長を支援。

参加学生数	年間 約200人 / のべ 約1800人
受入企業数	年間 約100社 / のべ 約530社
起業した学生数	のべ 約120人
セミナー・イベント開催数	年間 約100回 (06年度)
個別面談学生数	年間 約850人 (06年度)
カリキュラム提携大学	約30校 (高知大、早稲田大など)



参加学生出身校(一部)

国立大学

東京大学・一橋大学・東京外国語大学・東京工業大学・首都大学東京・横浜国立大学・千葉大学・筑波大学

私立大学

早稲田大学・慶應義塾大学・日本大学・中央大学・青山学院大学・明治大学・立教大学・上智大学・
国際基督教大学・学習院大学・武蔵工業大学など

地方の大学

京都大学・同志社大学・立命館大学・立命館アジア太平洋大学・近畿大学・愛媛大学・北海道大学など

海外の大学

カリフォルニア州立大学・オハイオ州立大学・オレゴン大学・ニューヨーク州立大学

ETIC . (エティック)について

2007年4月時点、全国15地域。
若者と地域をつなぐ取り組みを拡大中。

地域	組織	代表者	年齢
北海道・札幌	NPO 法人 Sapporo Soul	横井 朋幸	27歳
北海道・岩見沢	有限会社 JICC	島田 昌幸	23歳
愛媛・松山	NPO 法人 Eyes	横山 史	28歳
岐阜	NPO 法人 G-net	秋元 祥治	27歳
福岡・飯塚	株式会社 ハウインターナショナル	濱野 彰彦	29歳
宮城・仙台	株式会社デュナミス	渡辺 一馬	28歳
大阪	NPO 法人 Jae	山中 昌幸	34歳
大阪	大阪府立青少年会館	松崎 光弘	41歳
愛知・名古屋	NPO 法人 愛知市民教育ネット	毛受 芳高	34歳
静岡・富士	NPO 法人 東海道・吉原宿	三浦 大輔	32歳
福島・会津美郷	株式会社 明天	貝沼 航	26歳
京都	アマタ株式会社 持続可能経済研究所		
高知	NPO 法人 KGC 株式会社 南の風社		

● 認定 CP
● トライアル CP
● ETIC

Copyright(C) 2007 NPO法人ETIC. All rights reserved

ETIC . 基本戦略 : 縦展開と横展開

日本の様々な機会と現場を学びと成長のフィールドに。
自らの行動で社会の未来を切り拓くリーダーを育成していきます。

若者の成長軸

- 自律発展支援
- スタートアップ支援
- ソーシャルアクション支援
- 起業家精神トレーニング
- 起業家精神啓蒙

ETIC. 自主事業 連携事業 プロデューサー支援 地域への広がり

インキュベーション

社会起業家ビジネスプランコンテスト

学生ソーシャルアクションファンド (電通育英会)

大学連携授業科目 (早稲田大学 / 横浜国立大学)

インターン事業

大学・自治体連携 (高知大学 / 横浜国立大学 / 横浜市等)

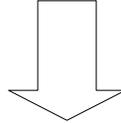
地方学生向け啓蒙イベント

チャレンジコミュニティプロジェクト

Copyright(C) 2007 NPO法人ETIC. All rights reserved

ソーシャルキャピタルとは

人々が持つ信頼関係や人間関係(社会的ネットワーク)のこと。
人々の協調行動が活発化することにより社会の効率性を高めることができるという考え方のもと、
社会の信頼関係、規範、ネットワークといった社会組織の重要性を説く概念。



ETIC.の全ての事業活動は、
ソーシャルキャピタルを高めるものであり、
そのソーシャルキャピタルを活用して人や事業の成長を応援するものである。

アマタ(株)持続可能経済研究所 所長
京都大学大学院農学研究科修士・農学修士
牧大介 (32)

大手シンクタンク研究員を経て、
林業から森林を守る
「(株)森林再生システム」をスタート。

明日の林業家たちを育てるプログラムを実施。

その後、アマタ持続可能経済研究所にて、農林水産業・農山村漁村の
変革コンサルティングを手掛ける。



▶ 社会起業家のためのビジネスプランコンテスト“STYLE”を通じて支援

ETIC. が応援する起業家型リーダー

NPO法人TINA
(おこめナビプロジェクト)

秋葉秀央 (27)

インターンを経てNPOを起業。
「農家を救う」使命を追求する社会起業家

こだわり稲作農家の産地直送米の営業代
行を行う「おこめナビプロジェクト」

初年度売上8000万円を達成。
200店舗300トンを販売。

首都圏80件の飲食店に「顔の見えるお
米」を届ける。

自治体からの依頼案件も増加。都市農村
交流、就農支援も開始。



▶ アンタレプレナーインターンプログラム、社会起業塾を通じて支援

Copyright(C) 2007 NPO法人ETIC. All rights reserved

11

ETIC. (エティック)について

- ・自ら事業を起こす創業経営者だけでなく、
企業・行政・NPOなどに所属し活動するリーダー。
- ・自らの問題意識にしたがって、その解決に向けて社会を巻き込み、
新たな価値を生み出す。

「社会起業家」としての考え方・姿勢・スキルを持つ人材を増やす

社会貢献意欲 ・ 起業家精神

Copyright(C) 2007 NPO法人ETIC. All rights reserved

12

ETIC . (エティック) の 人材育成アプローチ

ETIC . の人材育成アプローチ

長期実践プロジェクト型インターンシップ

- : 3ヶ月～12ヶ月の長期にわたるプログラム
- : 業務体験や見学ではなく、実際に仕事を任せられ組織に貢献する
- : 企業と学生の自立的責任関係に基づく、マッチング・人材育成を重視

長期にわたる現場での実践から、**仕事観・問題解決力**を養う

長期実践プロジェクト型インターンの事例

企業の社会貢献(CSR)部向け情報提供サービスのプロジェクト推進 ～ 株式会社ガイアックス (東京)

吉井千織 (慶応義塾大学総合政策学部3年)

2007年春よりインターンに参加。企業のCSR担当者とNGO/NPOを結ぶ情報サービス「ガイアログ <http://gaialog.jp/>」の立ち上げプロジェクトの推進。営業・プロジェクト管理を担当。将来は、ISOなど環境・CSR関連のプロフェッショナルになることを希望。

「実際にCSRに業務で携わっている人、コンサルティングをする人、連携するNPOなどが、具体的にどんなことを考えているのかを、多面的に理解し、行動できるようになった。」



- ・様々なステイクホルダーの視点を持って提案する力
- ・自ら当事者意識を持って動くアントレプレナーシップ

Copyright(C) 2007 NPO法人ETIC. All rights reserved

15

長期実践プロジェクト型インターンの事例

ホームレスの自立支援を進める雑誌・広告営業部門の立ち上げ ～ ビッグイシュー日本 (東京)

成清洗太 (早稲田大学文学部3年)

自らの問題意識を深めるべく現場で実践で動いてみたいという動機で参加。ビッグイシューのビジネスモデルを強化するべく、これまで体系的に取り組んでこなかった「媒体への広告営業部門」の立ち上げプロジェクトに関わる。

ETICは、同社広告営業部門立ち上げに際して、周囲のネットワークをコーディネートし、営業戦略会議を実施するかたちで、インターン生の活躍を後押し。

「仕事として取り組むことの厳しさと同時にうれしさを実感できた」



- ・相手のニーズを引き出し提案する交渉・調整力
- ・やりたいこと(問題意識)を仕事で実現しようとする動機

Copyright(C) 2007 NPO法人ETIC. All rights reserved

16

社会・地域の現場で推進する 人材育成の取り組みのポイント

Copyright(C) 2007 NPO法人ETIC. All rights reserved

17

社会・地域の現場で推進する人材育成のポイントは何か？

人材育成に対して、社会・地域の当事者意識をどれだけ高めていくことができるかが最大の鍵。

これまでのアプローチ

トップダウン的
受身的
事務的効率性重視
画一的
横並び的発想での参画
お金の切れ目が縁の切れ目

活力が生まれない構造

必要となるアプローチ

自律分散的(ボトムアップ的)
自発的・能動的
個々の目的意識重視
多様性
成功事例に刺激を受けて参画
自律発展型

活力が自己増殖されていく構造



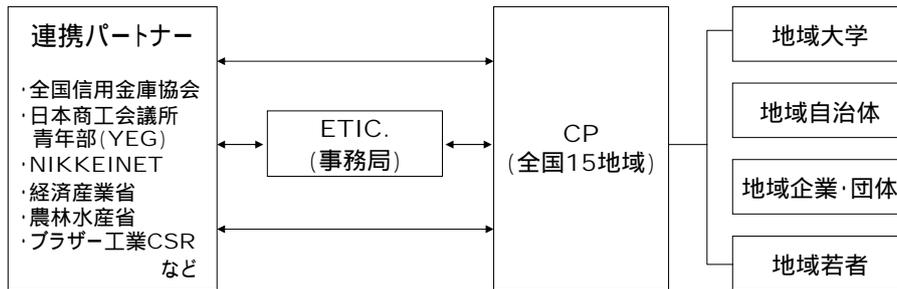
社会・地域の当事者意識を高め、
自律発展的な構造に持っていく上で重要なポイントは何か？

Copyright(C) 2007 NPO法人ETIC. All rights reserved

18

事例紹介: チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト

- 2004年からスタートした全国横断型のリーダー型人材育成プロジェクト
 - 地域のハブとなるプロデューサー (CP: チャレンジ・プロデューサー) を育成・輩出し、CPが地域経営者や大学を巻き込み、若者 (主に大学生・大学院生) への実践型人材育成を展開
- 3年間で250社で約600人の若者が長期実践型インターンシップを経験
- 3年間で全国15地域にCPが登場
 - 今年度新たにCP予備軍として10地域がプロジェクトに参画を表明 (現在研修中)



全国各地のチャレンジ・プロデューサー

2007年4月時点、全国15地域。
若者と地域をつなぐ取り組みを拡大中。



社会・地域の当事者意識を高め、
自律発展的な構造に持っていく上で重要な
2つのポイント

WIN・WINの関係を
構築するコーディネーター

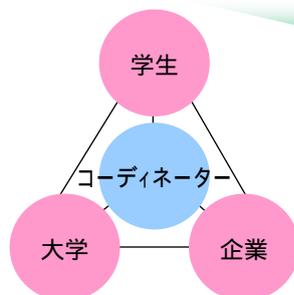
×

自発的参画を促す
全国的な場づくり

「チェンジエージェント」としてのコーディネーター(調整役)が介在し推進する

チェンジエージェント：課題を設定し解決に向けて周囲をも巻き込む「変革の担い手」

- ・人が学び育ち刺激を受け合う関係性(ネットワーク)作り
- ・大学が意図する教育効果をプログラムに落とし込む専門性
- ・学生に対する動機付け・キャリアコーチングに基づく、意思決定・学習の支援
- ・受入企業・NPOにとって価値のある機会設計



大学・学生・企業の
WIN・WIN・WINをプロデュースする
という視点が重要

木材を使って森林を守る現場から、林業再活性化の提案
 ~ 森昭木材株式会社 (高知)をフィールドとした人材育成

井上将太 (高知大学農学部2年)

大工の息子。林業を現場で体験し、高知の林業を建て直すヒントを得たいと思い参加。インターンでは、2006年夏SGEC森林認証の取得にかかる資料作成。森林環境税シンポジウムでの提案発表。

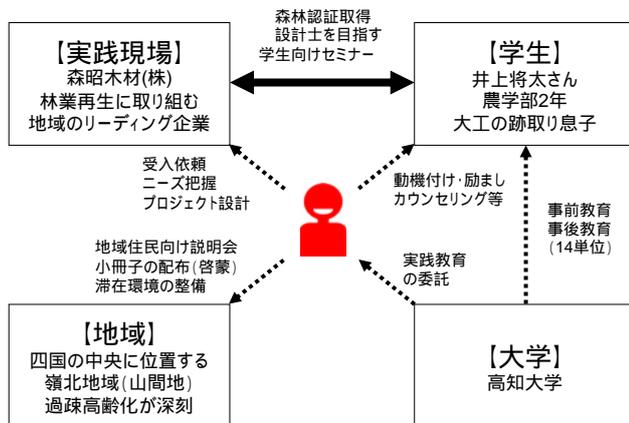
「森林管理の仕事は、50年後・100年後の高知を創る仕事だ」
 「自分は大工の息子として、木のことを何も知らなかった」

インターン終了後、高知嶺北地域につながりのある林業家、材木会社社長、設計士、大工などを講師に迎え、全国の将来の木造建築などの設計士を対象に、実習を交えた7日間講義“森の未来に出会う旅”セミナーを自主的に企画・運営、18人動員。

- ・持続可能な社会に対する思いの醸成
- ・自ら提案者となって企画を実現する力の獲得



木材を使って森林を守る現場から、林業再活性化の提案
 ~ 森昭木材株式会社 (高知)をフィールドとした人材育成



コーディネーターによるプロデュース例

地域の大学と連携し、インターン後の地域でのチャレンジも促進

～大学の制度設計と地域パートナーとの連携コーディネート

事例) 高知大学 CBI (コミュニティ・ベース・インターンシップ) プログラム

- ・イニシアティブを取る教員陣とプログラム共同実施(インターンと前後科目で14単位)
- ・評価表などプログラムの教育効果を高めるツール開発
- ・インターン終了後の地域でのチャレンジの支援



セミナー「森の未来に出会う旅」スタッフ写真

重要なポイント 自発的参画を促す場づくり

情報の発信による啓蒙と人材の移動の促進

東京ベンチャー留学

- ・地域の学生に学習機会を提供する
- ・ロールモデルと仲間の提供による視野の拡大、アクションの促進
- ・これまでのべ250名程度が、地域から東京に来て、刺激を受けている

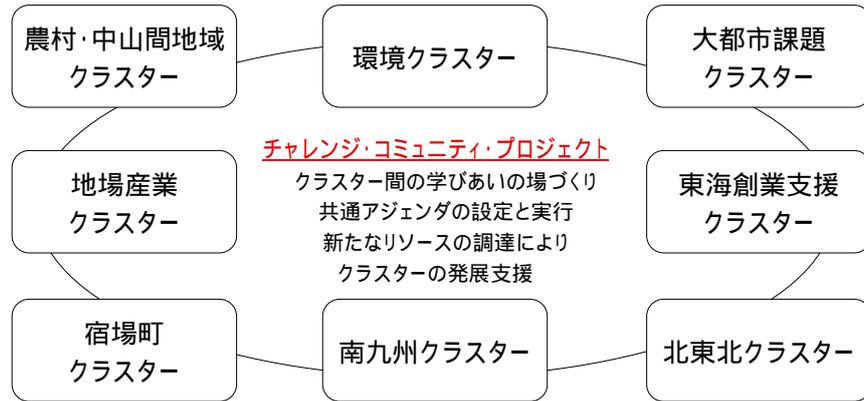
田舎未来会議

- ・全国の「いなか地域(中山間地域など)」で活躍するコミュニティプロデューサーが集い、情報交換。または、地域に関心のある学生が集まり刺激を受けアクションしはじめる。
- ・参加者100名程度
- ・島根県飯南町 中山間地域研究センター



地域の活動状況とニーズを知り、地域の動きが更に盛り上がるように仕掛ける

問題意識や地域特性を共有するコーディネーター同士が、企業経営者や大学関係者も巻き込みながら、より効果的な実践教育のプロジェクトづくりについて学びあう場を作っていく。



起業家育成からインターン受入への循環

～インターン生が起業し、さらに受け入れ企業として参画する

事例) おこめナビ 秋葉秀央氏

- ・ITベンチャーでのインターンで培った経験をばねに、元々関心の強かった農業分野で創業。
- ・先輩経営者、専門家、社会人などによる経営会議を実施し、創業期をサポート。
- ・特に事業戦略のようなものでなく、起業家精神に近い部分をつたえる。
- ・2年後事業が成長軌道に乗り、今度は意欲ある学生の受け入れをする立場に。



先輩経営者などを交えた経営会議の様子

日本における環境人材育成を進める基盤をつくるために

- 1) 将来、環境分野で高度に問題解決を推進していく人材は、技術的専門性とは別に、現場のリアリティを感じ価値を発揮する経験が重要。
- 2) 現場での実践的プログラムは、利害関係を調整し、WINWINの場づくりを行うコーディネーター(チェンジエージェント)の存在が不可欠。
- 3) 全国的な取り組みの盛り上がりをつくっていくためには、人的ネットワークを共有し、多方面からの支援を行う自律分散協調の中から創発がうまれてくるような柔軟なプラットフォームが重要。